

JCHO SAURS ジェイコー サウルス 通信

CONTENTS

- 新任の挨拶… 2
- 第3回 奥越市民公開講座を開催しました… 3
- 大野市総合防災訓練に参加しました… 3
- ICLSについて… 3
- 熱中症は真夏と梅雨どきに注意が必要です… 4
- 附属老健は「強化型老人保健施設」となりました… 4

July. 2019

Vol.11



防災用テントを整備しました

病 院 の 理 念

地域に根ざし、地域から愛される病院
『親切』『信頼』『進歩』

基 本 方 針

真心と笑顔で接します
 良質で安心な医療・介護を提供します
 地域医療、地域包括ケアを推進します
 救急医療・回復期医療を充実させます
 ニーズに沿った環境を作ります
 知識と技術の向上をめざし、自己研鑽に努めます



独立行政法人地域医療機能推進機構
JCHO福井勝山総合病院

新任の挨拶



外科部長

さとう よしき
佐藤 嘉紀

2019年4月に赴任してまいりました佐藤嘉紀と申します。
医師21年目で専門は消化器外科です。患者さんに優しい治療を目指して地域医療に貢献していければと思っております。
胃がん・大腸がんなどご質問あれば、気軽にご相談ください。
趣味はマラソン・筋トレ・飲み歩きです。
こちら、ぜひ声をかけてください。
今後ともよろしくお願い致します。



整形外科医長

いわなが たけし
岩永 健志

4月よりお世話になっております。整形外科の岩永です。
皆さんの痛みや不安に対して、少しでもお役に立てればと思います。
日々、明るく元気に頑張りたいと思います。
よろしく申し上げます。



消化器内科医師

みどり ようへい
翠 洋平

今年4月より赴任しました消化器内科の翠です。
縁があり、こちらに勤務させていただくことになりました。
今までの経験をいかし地域医療に貢献する所存です。
微力ながら皆様のお役に立てればと思います。
よろしく申し上げます。



総合内科医師

ふくもと ゆうた
福本 雄太

4月よりお世話になっております。総合内科・救急の福本です。
3月までは福井県立病院にいました。医師としても人としてもまだまだ未熟な部分が多いと思いますが、精一杯頑張ってお参りますので、今後ともよろしくお願い致します。

第3回 奥越市民公開講座を開催しました。

令和元年5月25日(土)、学びの里めいりんにて、第3回奥越市民公開講座を開講しました。

今回は「がんの予防と検診」をテーマに福井勝山総合病院の6名の医師による講演と、来場者の方からの質問に対し6名の医師が回答する「なんでも相談」が行われました。

初めて大野市で市民公開講座を開催いたしました。外気温が30度を超える暑い中、100名を超える市民の方にご来場いただき盛会のうちに、終了しました。



大野市消防総合訓練に参加しました

平成31年4月8日に大野市役所にて行われた大野市消防総合訓練にて実施されました。当院はDMAT（災害医療派遣チーム）隊が参加しました。救急隊と連携し、負傷者のトリアージ、処置、搬送等の再確認を行いました。



ICLSについて

令和元年5月18日に、日本救急医学会認定 第11回 ICLSコースが当院で開催されました。ICLSとは、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。緊急性の高い病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標としています。講義室での講義はほとんど行わず、実技実習を中心としたコースです。医師、救命救急士、看護師が受講し、インストラクターの指導のもとBLS、気道管理および除細動器の使用について実習を行いました。





熱中症は真夏と梅雨どきに注意が必要です

予防

- ・帽子をかぶり、風通しよく涼しい服装を
- ・炎天下での激しい運動を避ける
- ・汗で失われた塩分と水分を補給する
- ・寝不足など体調不良の時は運動を避ける
- ・車中に赤ちゃんを置き去りにしない
- ・ベビーカーは地面からの照り返しで暑い



症状と手当

めまいがする、顔色がわるい、
頭が重い、お腹が痛い、吐く、
足などのこむらがり、
全身がだるい



涼しいところへ移動し、風を送り、イオン飲料を
飲ませる。
しばらくたっても回復しなければ病院へ

ふらふらしている
ぼーっとしている



危険信号
病院へ連れて行く

倒れて意識がない
けいれんを起こした



命の危険がせまっている
救急車を呼ぶ



附属老健は「強化型老人保健施設」となりました

老健ってどんな所なの？

(老健の簡単な説明)

介護老人保健施設とは、“要介護者であって、主としてその心身の機能の維持回復を図り、居宅における生活を営むことができるように支援する施設です。施設サービス計画に基づいて、看護、医学的管理の下に介護及びリハビリテーション、その他必要な医療並びに日常生活上の世話をを行うことを目的としています。



【在宅強化型老健とは】

介護老人保健施設には、「その他型」「基本型」「加算型」「強化型」「超強化型」の5種類に区分されています。加算型や強化型、超強化型は、厚生労働省が定める要件を満たした在宅復帰・在宅支援機能が高いと認められた介護老人保健施設のことです。



具体的には……

- ・当施設のリハビリ職員が4人→6人に！ 更に全ての利用者の方に週3回のリハビリを実現！！
- ・“強化型老健とは国の法律で決められた”施設である。
- ・在宅復帰施設から→法律の条文に在宅支援が規定された。
- ・「在宅支援」こそがこれからの老健施設の真の役割。

今後は、「リハビリの充実」、「認知症へのより高度な対応」

「医療の充実」、「自立支援を基盤としたケアの質の充実」が重要となってきます^^

患者様の権利と責務

患者さまの権利

- ・安全で良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・診療内容について理解できるまで十分な情報提供とわかりやすい説明を受ける権利があります。
- ・自己の納得と自由な思想に基づき、医療行為に「同意」し「選択」し、あるいは「拒否」する権利があります。また、他の医療機関での意見（セカンド・オピニオン）を求める権利があります。
- ・個人情報、保護される権利があります。
- ・守らなければならない当院の規則を知る権利があります。
- ・自己の権利が尊重されていないと感じた場合、苦情の申し立てをする権利があります。

患者さまの責務

- ・医療に積極的に参加し、より良い治療を行うため医療従事者と良好な関係（パートナーシップ）を構築してください。
- ・社会一般的なマナーを守り、他の患者さまの診療に支障をきたすことのないようご配慮ください。
- ・当院で定められた規則をお守りください。



独立行政法人地域医療機能推進機構

JCHO福井勝山総合病院

〒911-8558 福井県勝山市長山町2丁目6番21号

TEL (0779) 88-0350(代) FAX (0779) 88-3739

URL : <http://fukui.jcho.go.jp/> Eメール : main@fukui.jcho.go.jp